

2014年度大学入試センター試験 解説〈地理B〉

第1問 世界の自然環境

問1 正解は②

- ② 誤り。海域イは北アメリカプレートと南アメリカプレートの中央部に位置している。そのため、プレートの狭まる境界にみられるプレートの沈み込みは存在せず、海溝も形成されていない。
- ① 正しい。海域アにはホットスポット上（現在のハワイの位置）に生まれた火山が太平洋プレートの西方移動とともに海底に沈み、海山列を形成している。
- ③ 正しい。海域ウは南アメリカプレートの内部に位置し、広い大陸棚がみられる。
- ④ 正しい。海域エはアフリカプレートとインド＝オーストラリアプレートの境界に位置し、インド洋中央海嶺が形成されている。

問2 正解は④

- カ 主に赤道周辺および北半球に地震発生数が集中している。赤道付近はニューギニア島、北半球は日本列島～伊豆＝小笠原諸島付近の、いずれも環太平洋造山帯に伴う地震帯に対応する。南半球には安定陸塊のオーストラリア大陸があり、地震は少ない。よってBの範囲に該当する。
- キ 主に南半球に地震発生数が集中している。これはメラネシアからニュージーランドにかけて分布する環太平洋造山帯に伴う地震帯に対応する。北緯60度付近の地震はカムチャツカ半島のものである。よってCの範囲に該当する。
- ク 北緯30度から赤道付近に地震発生数が集中している。ヒマラヤ山脈の東からインドネシアにかけて分布するアルプス＝ヒマラヤ造山帯に伴う地震帯に対応する。よってAの範囲に該当する。

問3 正解は④

- サ カスピ海の説明である。ヴォルガ川が流入する。よってKに該当する。
- シ バイカル湖の説明である。よってLに該当する。
- ス スペリオール湖（五大湖）の説明である。オンタリオ湖からはセントローレンス川が流出する。よってJに該当する。

問4 正解は③

- ③ Pは北アメリカ東部、西ヨーロッパ、中国東部、日本など、広葉樹・混合林が分布する温帯地域である。この地域の土壌は褐色森林土である。
- ① 亜寒帯（冷帯）の針葉樹林帯に分布するポドゾルの説明である。
- ② 熱帯～亜熱帯に分布するラトソルの説明である。
- ④ 乾燥帯に分布する砂漠土の説明である。

問5 正解は④

- U（ペキン）は、亜寒帯（冷帯）である。夏は温和だが冬の寒さが厳しい（ -3°C 未満）ため、年平均気温は低く、気温の年較差が大きい。
- R（メキシコシティ）は低緯度地域であるため、年平均気温は高めだが、気温の年較差は小さいので①に該当する。
- S（ダブリン）は、偏西風と暖流の北大西洋海流の影響を受ける西岸海洋性気候区にあり、高緯度の割には温和で、気温の年較差は小さいので②に該当する。
- T（リヤド）は砂漠気候区にあり、特に夏季は南西季節風の影響により 30 度以上の高温が続く。③に該当する。

問6 正解は①

- ①は「Yの1月」である。南半球の1月は夏であるが、サバナ気候が分布するaのヨーク岬（ケープヨーク）半島付近は雨季にあたり、降水量が多い。
- ③は「Xの7月」である。サバナ気候のdのベンガル湾岸は雨季である。
- ②は「Xの1月」、④は「Yの7月」であるが、この2つの判定は難しい。

第2問 世界の資源と産業

問1 正解は③

- ア 成立要因はB。17世紀の中央アメリカでのサトウキビ栽培は、侵略者であるヨーロッパ人によって始められたプランテーション農業である。虐殺や疫病などにより先住民が絶滅したため、アフリカ大陸から導入された奴隷労働力を利用して大農園が経営された。
- イ 成立要因はA。19世紀にアルゼンチンで牧牛が発達したのは、冷凍船の発明による。主要な市場である北半球の先進国地域への輸出が可能になったことで、南半球で企業的牧畜が成立した。
- ウ 成立要因はC。20世紀にエジプトで綿花生産地域が拡大したのは、ナイル川にアスワン＝ハイ＝ダムが建設されて、流域での大規模な灌漑が可能になったからである。

問2 正解は②

- 米は基本的に自給的作物であるため、生産量に占める貿易量が小さい。したがって、生産上位国と輸出上位国が一致しない。
- ② アメリカ合衆国である。カリフォルニア州やミシシッピ川流域などで、主に輸出向けに栽培されている。
- ① タイである。世界一の米輸出国である。
- ③ インドである。「緑の革命」によって自給を達成し、今では輸出余力も生じている。
- ④ 中国である。世界一の米生産国である。米の生産上位国はモンスーンアジアの人口上位国である。

米の生産 (2011年)		米の輸出 (2010年)		[参考]アジアの人口上位国	
中国	28.0%	タイ	27.3%	中国	13.8(億人)
インド	21.5%	ベトナム	21.0%	インド	12.4
インドネシア	9.1%	パキスタン	12.8%	インドネシア	2.5
バングラデシュ	7.0%	アメリカ	11.5%	パキスタン	1.8
ベトナム	5.9%	インド	6.8%	バングラデシュ	1.5

問3 9 正解は④

中国・オーストラリア・ロシアなどは、生産上位国であっても各資源に共通であるため、判定材料にはならない。また、頻出の鉄鉱石については統計を覚えておきたい。

金鉱はキ。アフリカ大陸の南アフリカ共和国やガーナが判定の決め手となる。

銀鉱はク。中南米のメキシコやペルー・ボリビア・チリで判断できる。

鉄鉱石はカ。主に安定陸塊に分布する。ブラジルとインドに注目するとよい。

金鉱の生産 (2011 年)		銀鉱の生産 (2011 年)		鉄鉱石の生産 (2011 年)	
中国	13.6%	メキシコ	17.8%	中国	29.6%
オーストラリア	9.7%	中国	15.9%	オーストラリア	19.9%
アメリカ	8.8%	ペルー	14.7%	ブラジル	17.8%
ロシア	7.5%	オーストラリア	7.4%	インド	11.1%
南ア共和国	6.8%	ロシア	5.8%	ロシア	4.3%
ペルー	6.2%	チリ	5.5%	ウクライナ	3.2%
カナダ	3.6%	ボリビア	5.2%	南ア共和国	2.8%

問4 10 正解は①

サ 衣類である。1970 年代後半には、韓国はアジア NIEs として低賃金労働力を利用した輸出指向型工業化に成功していた。そのため、主に労働集約的な軽工業品を輸出していた。衣類の他に繊維品、はきものなどの品目もみられる。フィリピンの工業化は韓国よりも遅れている。

シ 自動車である。現在の韓国では現代（ヒュンダイ）自動車などのメーカーによる自動車生産・輸出が主要産業となっている。現在のフィリピンには先進国の工場が進出している。

ス 木材である。フィリピンは、以前は日本にラワン材（合板の原木となる）などを盛んに輸出していたが、熱帯林が破壊され、現在では輸出が規制されている（1986 年丸太輸出禁止）。

問5 11 正解は③

- ③ 誤り。オーストラリアはウランの主要生産国（世界第3位：2011年）であるが、核燃料として他国へ輸出されており、国内に原子力産業は立地していない。オーストラリアでは国内で大量に産する石炭を利用した火力発電が中心である。
- ① 正しい。映画産業の中心地ハリウッド地区を含むロサンゼルスを指している。
- ② 正しい。インドは旧イギリス領であることから、英語話者が多いこともコールセンターの立地に寄与している。
- ④ 正しい。サイエンスパークとはハイテク産業の集積をねらって設立された工業地区である。同様の地区は国や地域によって、ハイテクパーク・リサーチパーク・テクノパークなどさまざまな名称で呼ばれている。

問6 12 正解は③

- ③ 誤り。イギリスは、デンマークやスウェーデンと同様にユーロを導入していない。
- ① 正しい。ニューヨークでは、特にウォール街が金融センターとして知られる。
- ② 正しい。バブル経済の崩壊は1991年のことである。
- ④ 正しい。アルバイトや派遣社員などの非正規労働者が増加している。

第3問 都市と生活文化

問1 13 正解は④

- ④ アフリカに該当する。一般に発展途上地域は都市人口率が低い（ただし、新大陸の南アメリカ大陸では比較的高い）。したがって、アフリカに該当するのは③か④に絞られる。しかし、世界人口の6割を占め、多くの大都市が存在するためアジアが③に該当する。
- ① ヨーロッパである。人口500万人以上の3都市は、モスクワ、パリ、ロンドンである。
- ② オセアニアである。人口500万人以上の都市が存在しない。

問2 14 正解は④

- イ 産業革命以降の工業化は、ロンドンなどの都市の生活環境を著しく悪化させた。これに対し、ハワードは19世紀末に田園都市構想を提案した。郊外の優れた環境と都市の利便性を兼ね備えた都市を労働者に提供するものである。この構想は、ロンドン北方のレッチワースなどで実現した。
- ウ 第二次世界大戦による戦禍をうけて、その復興とロンドンへの過度の集中を防ぐ目的で、1944年に大ロンドン計画が作成された。ロンドンの周囲にグリーンベルトをおき、郊外には職住近接のニュータウンを建設する。田園都市構想に影響を受けている。
- ア ロンドン内部のインナーシティ化（都心部の空洞化に伴い、住宅が老朽化した地域で夜間人口が減少、治安・住環境が悪化すること）が進み、とくに荒廃が深刻化したドッグランズでは1980年代に再開発が進み、高層ビル街が形成された。

問3 15 正解は②

- カ A市に該当する。中心業務地区（C.B.D）を擁する大都市圏の中心都市は、周辺から多くの通勤者・通学者を受け入れるため、昼夜間人口比率が高くなる。
- キ C市に該当する。農村部を含む郊外都市では、若年層が大都市圏に流出するため、老年人口割合が高くなる。
- ク B市に該当する。大規模なニュータウンが開発された住宅衛星都市では、A市とは逆に昼夜間人口比率が100を下回る。
- なお、本問のA市は大阪市、B市は吹田市（大阪市に接し、千里ニュータウンがある）、C市は南丹市（京都市の北部に位置する）と思われる。

問4 16 正解は①

- サ 大型小売店に該当する。駐車場を含む広大な敷地を必要とし、自動車による来店を前提とするショッピングセンターなどの大型小売店は、郊外の主要道路沿いに立地する。
- シ 銀行に該当する。官公署や企業の多い中心市街地に集中して立地する。
- ス 小学校に該当する。どの地域の児童も徒歩で通学できるよう、地域的に偏ることなく分散して立地する。

問5 17 正解は②

- P 北海道・東北に該当する。関東と比較すると冬季に寒冷なため光熱費が高位となる。また、関東では特に地価の高い東京において住宅1戸当たりの延べ床面積は小さい。
- R 中国・四国に該当する。中部と比較すると温和であり、冬季の光熱費が低位となる。また、北陸地方（中部地方の日本海側）は伝統的に持ち家比率が高く、延べ床面積の広い一戸建てが多い。

問6 18 正解は③

- ③ 誤り。城壁で囲まれた城郭都市（囲郭都市）は、古代～中世の旧大陸（アジアやヨーロッパ）で作られた。約250年の歴史しかないアメリカ合衆国には存在しない。
- ① 正しい。リオデジャネイロやサンパウロの成長は著しい。
- ② 正しい。有名なハンバーガーの世界的チェーン店も進出しているが、宗教上の理由から牛肉を使わないメニューが提供されている。
- ④ 正しい。フランスでは長期のバカンスを与えることが企業に義務づけられている。

第4問 西アジア地誌

問1 19 正解は④

- ④ Cに該当する。外来河川（湿潤地域に源をもち、乾燥地域を貫く河川）であるティグリス川・ユーフラテス川に挟まれたイラクの「肥沃な三日月地帯」は、河川水の灌漑によって農耕が可能であるため、集落も多く立地する。図からは両河川の流れに対応した集落の分布が読み取れる。首都はバグダッドである。
- ① Dに該当する。砂漠のなかでは、湧水を利用したオアシス集落が点在するのみである。首都はリヤドである。
- ② Bに該当する。地中海沿岸に中小規模の国家が集まっているため、首都が多い（北から順に、ベイルート[レバノン]、ダマスカス[シリア]、アンマン[ヨルダン]、エルサレム[イスラエルとパレスチナが首都として主張している]）。
- ③ Aに該当する。トルコのアナトリア高原は地中海性気候（一部ステップ気候）であり、河川も多く、広く集落が分布している。本図が人口分布を示しているわけではないことに注意したい（人口はイスタンブールなど西部の大都市に集中している）。首都はアンカラ。

問2 20 正解は①

- ア 地表水である。砂漠気候のクウェートやサウジアラビアにはほとんど存在しない。トルコは地中海性気候が分布する。イランは砂漠も多いが、北部のカスピ海沿岸は地中海性気候である。
- イ 地下水である。イランには人工の地下水路カナートが数多くみられる。
- ウ 淡水化水である。海水の淡水化には巨額のコストがかかるため、絶対量は少ないが、サウジアラビアなどでは豊富な石油収入を投入して、不足する用水の確保に努めている。

問3 21 正解は⑤

- カ イランである。農耕可能地域に恵まれ農牧業が盛んであるため、他の2国に比べて人口が多い。そのため、石油収入は多くても（世界第3位の輸出量）、1人当たりGDPは低い。
- キ サウジアラビアである。世界一の原油輸出国（産出量はロシアに次ぎ2位）であることは知っておきたい。他に大きな産業は存在しないため、経済の石油輸出への依存度が高い。
- ク アラブ首長国連邦である。他の2国に比べ国土は狭く（北海道とほぼ同じ）、人口規模が圧倒的に小さいため、1人当たりGDPは極端に高い。しかし、金融・サービス業を中心に石油以外の産業育成に努めており、石油収入の割合はそれほど高くない。

問4 22 正解は②

- 都市Kはアラブ首長国連邦の中心都市ドバイである。
- ② 誤り。西アジアにおける自動車産業は、トルコとイランに外国企業が進出している以外にはみられない。ドバイは主に第3次産業の育成に努めている。
- ① 正しい。ドバイは金融センターとして発達しており、人口は首都アブダビを上回る。世界一高い超高層ビル（ブルジュ＝ハリファ）も建設された。
- ③ 正しい。写真はドバイ沖合の人工島「パームアイランド」である。ほかに巨大ショッピングモールやテーマパークなども建設されている。
- ④ 正しい。ドバイへは、インド・エジプト・イエメン・フィリピンなどからの流入が多い。この事情はサウジアラビアでも同じである。

問5 23 正解は⑥

タ Rに該当する。紅海とインド洋（アデン湾）を結ぶマンダブ海峡周辺では、ソマリアを根拠とする海賊が活発に活動している。ソマリアは内戦により国家が破綻している。

チ Qに該当する。石油生産の拠点ペルシャ湾とインド洋を結ぶホルムズ海峡である。

ツ Pに該当する。黒海とマルマラ海を結ぶボスポラス海峡である。マルマラ海は、さらにダーダネルス海峡でエーゲ海・地中海につながる。文中の「大帝国」はオスマン帝国、「当時の首都を起源とする都市」はイスタンブールである。

問6 24 正解は②

② イランに該当する。ムスリム（イスラーム信者）全体の中では少数派であるシーア派はイランおよびイラクに多い。イラン革命以降、アメリカ合衆国との対立が続いている。

① エジプトに該当する。文中の「アラブ民族主義の指導者」とは、スエズ運河国有化をおこなったナセル大統領である。

③ サウジアラビアに該当する。王政のもと、厳格な宗教国家である。

④ トルコに該当する。アラビア文字を廃し、欧米諸国と同じラテン文字を取り入れたのも政教分離による世俗主義の現れである。EU加盟を申請している（未加盟）。

第5問 現代世界の諸課題

問1 25 ・ 26 正解は②・⑤（順不同可）

② 誤り。干ばつによる森林火災の影響が大きい。森林面積を減少させるほどの火入れでは景観の保全にはならないから、論理的にもおかしい。

⑤ 誤り。先進国では森林資源の保全と環境保護のため、植林が積極的におこなわれている。また、人工林の木材をバイオマス発電に用いるとすれば、結局森林は増加しないから論理的にもおかしい。なお、バイオマスとは動植物から生じる生物資源の総称である。

① 正しい。東南アジア諸国では、おもに日本向け木材輸出によって森林を減少させた。エビ養殖池開発のためにマングローブ林が減少していることも問題となっている。

③ 正しい。黄土高原など内陸部の砂漠化が著しいため、「退耕還林」と呼ばれる植林政策が進められている。

④ 正しい。セルバと呼ばれる熱帯林地域が、牧場や大豆などの耕地に姿を変えている。

⑥ 正しい。ブルキナファソはサヘル（サハラ砂漠南縁）に位置している。

問2 27 正解は②

- ② 正しい。写真はセンターピボット農法による耕地を示している。センターピボット農法とは、ポンプで汲み上げた地下水を回転するアーム状のスプリンクラーで乾燥地域に散布して、円形の耕地に作物を栽培する方法である。乾燥地域で過剰な灌漑がおこなわれると、毛細管現象によって地中の塩分が地表に集積して、土壌が劣化する。
- ① 誤り。19世紀はじめ、タウンシップ制（西部開拓時代におこなわれた土地分割制度）により約800m四方の農地に農家を入植させた。そのため、のちにセンターピボット農法が導入されたとき、アームの長さ（すなわち円形農地の半径）は400mのものが多かった。
- ③ 誤り。土壌流出を防ぐ方法として、等高線耕作がおこなわれている地域がある。
- ④ 誤り。企業的牧畜業における肉牛肥育施設をフィードロットという。

問3 28 正解は④

- ④ 誤り。2000年以降、銅鉱価格は急騰しているが、社会体制や政情が不安定なアフリカ諸国では、むしろ貧富の差は拡大している。
- ① 正しい。北アメリカに限らず、露天掘りは環境への悪影響が大きい。
- ② 正しい。アメリカ合衆国・イギリス・日本などの資源メジャーとよばれる企業である。
- ③ 正しい。レアメタルは偏って分布しており供給体制に不安がある。そのため、日本ではレアメタルの備蓄、代替資源・技術の開発、輸入先の多角化、「都市鉱山」の見直しなどを進めている。

問4 29 正解は①

- ア アメリカ合衆国に該当する。徹底したコマーシャルイズム（商業主義）に牽引された世界最大の消費市場をもち、廃棄物の発生量も著しく大きい。
- イ スウェーデンに該当する。北欧のスウェーデンは世界で最も環境保全意識の高い国の一つであり、リサイクルにも社会全体で取り組んでいる。
- ウ メキシコに該当する。他の2国に比べ経済レベルが低く、廃棄物発生量が少ない。発展途上国では、リサイクルシステムが確立していないことが多い。

問5 30 正解は②

- カ アメリカ合衆国に該当する。先進医療が発達しており、先進国のなかでも突出して医療費の割合が高い。しかし、これまで国民全体をカバーする社会保険が整備されてこなかったため、公的支出の割合は小さい。なお、現在のオバマ政権の下では国民皆保険制度が進められている。これが「オバマケア」である。日本は1961年までに国民皆保険を完成させている。
- キ デンマークに該当する。北欧は高福祉国家が多く、公的支出の割合が高い。
- ク インドに該当する。発展途上国では、医療サービス自体の整備が不十分である。

第6問 地域調査（愛知県知多半島）

問1 31 正解は②

- ア 正しい。図2の「南知多町」付近を見ると、海岸線の近くまで色の濃い部分（＝丘陵地）が迫っていることがわかる。
- イ 誤り。東海市～阿久比町は「北西から南東方向」である。

問2 32 正解は④

- ④ 誤り。図2をみれば常滑市の位置はわかる。図3のうち「老年人口割合」の階級区分図によると、常滑市の老年人口割合は22～26%と比較的高位にあたる。
- ① 正しい。図3のうち「人口」の図形表現図をみれば明らかである。
- ② 正しい。図3のうち「人口増加率」の階級区分図によると、人口が減少しているのは南部である。
- ③ 正しい。図3のうち「老年人口割合」の階級区分図によると、最も高い26%以上の老年人口割合を示しているのは、半島南端の自治体（南知多町）である。

問3 33 正解は③

- ③ 誤り。旧図のため池群と同じ場所（新図では「大曾公園」「窯業技術センター」付近）にため池が残っている。用水不足に悩んできた知多半島には昔からため池が多い。愛知用水の建設により安定的な用水供給が確保された現在でも、「ため池の水を先に利用し、足りなくなった分を補給する」という慣例が続いており、ため池の必要性は変わっていないという（『愛知県ウェブページ』による）。
- ① 正しい。「知多横断道路」は「セントレア大橋」につながっている。
- ② 正しい。砂州とは、海に突き出した細長い砂地（砂嘴）のうち、対岸近くまで伸びたものである。沿岸流などで運ばれた土砂が堆積してできる。
- ④ 正しい。旧図では針葉樹林の分布する山地斜面が、新図では開拓されて農地として整備されている。

問4 34 正解は⑤

- X 名古屋港の輸入品である。日本の主要な輸入品である原油などの原燃料が中心である。また、大消費地の名古屋大都市圏を後背に持つため、衣類などの消費財も多い。
- Y 名古屋港の輸出品である。豊田市を中心として自動車工業の盛んな中京工業地帯が後背に広がるため、自動車関連の輸出品が中心となっている。
- Z 中部国際空港の輸出品である。航空機輸送は軽量で高価な品目に限られるため、半導体などの高付加価値ハイテク製品が中心となっている。

問5 35 正解は①

- ① 誤り。地形図では、崖について土の崖と岩石の崖の区別はできるが、土管や甕が使われた構造物かどうかを読み取ることはできない。
- ② 正しい。地域史などに関する書物を探せばよい。
- ③ 正しい。野外調査（フィールドワーク）は地域調査に欠かせない手法である。
- ④ 正しい。聞き取り調査では、事前の連絡と質問事項の準備が不可欠である。

問6 36 正解は②

- カ 「原料地」である。職員の発言に「焼き物に使える粘土がとれたことから、窯業がおこりました」とある。
- キ 「小さい」である。従業者数や出荷額を事業所数で割れば、1事業所当たりの従業者数や出荷額を求めることができる。

	全体	窯業・土石	輸送用機器	家具・装備品
事業所数 (A)	182	71	22	7
従業者数 (B)	5645	1481	1437	468
出荷額 (C)	1541	320	359	456
1事業所あたり従業者数 (B ÷ A)	31.0	20.9	65.3	66.8
1事業所あたり出荷額 (C ÷ A)	8.5	4.5	16.3	65.1